

各 位

会社名 MediciNova, Inc  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一  
(コード番号: 4875 JASDAQ)  
問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子  
兼最高医学責任者 (CMO)  
電話: 03-3519-5010  
E-Mail: [infojapan@medicinova.com](mailto:infojapan@medicinova.com)

## NASDAQ バイオテクノロジー指数構成銘柄への採用に関するお知らせ

2020年12月15日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます。)は、当社株式が、米国時間の2020年12月21日(月曜日)の米国株式市場取引開始前を発効時として、NASDAQのバイオテクノロジー指数(NBI)<sup>\*1</sup>の構成銘柄として採用されましたことをお知らせいたします。

当社代表取締役社長兼 CEO の岩城裕一は、次のようにコメントしています。

「当社の株式が、ナスダック・バイオテクノロジー・インデックスに追加されたことは大変光栄です。今回、NBIの構成銘柄になったことは、当社の価値創造のためのたゆまぬ努力が認められたことの結果であり、大きなマイルストーンと考えております。当社は、治療法が限られている疾患に対する有望な新規治療法を開発するという使命を果たすべく、引き続き効率的な経営を行うことに注力していきます。」

なお、本件による当社の2020年12月期の業績への影響はありません。

以 上

### \*1 NASDAQ バイオテクノロジー指数について

ナスダック・バイオテクノロジー・インデックス(NBI)は、ナスダック株式市場(NASDAQ®)に上場しているバイオテクノロジー企業のパフォーマンスをフォローできるように構築されており、毎年実施されるインデックス構成銘柄の再構成に伴い、今回、当社がNBIに追加されました。今回の見直しにより、16銘柄が構成銘柄を外れ、新たに100銘柄が採用されております。NBIは、102億ドル(約1兆円)の純資産を持つiシェアーズ・ナスダック・バイオテクノロジーETF(Exchange-traded Fund)(NASDAQ: IBB)のベンチマーク・インデックスであり、他のバイオテクノロジーに特化したETFや投資信託のベンチマーク・インデックスでもあります。

### メディシノバについて

メディシノバ(MediciNova, Inc.)は、有望な低分子化合物を様々な領域の疾患の治療薬として新規医薬品の開

発を行う日米両株式市場に上場する製薬企業です。現在当社は、コロナウイルス感染に惹起される ARDS、進行型多発性硬化症、ALS、薬物依存（メタンフェタミン依存、オピオイド依存など）、グリオブラストーマをはじめとする多様な疾患を適応とする MN-166（イブジラスト）及び NASH、肺線維症など線維症疾患を適応とする MN-001（タイペルカスト）に経営資源を集中しております。ほかには MN-221（ベドラドリン）及び MN-029（デニブリン）も当社のパイプラインの一部です。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 300、エグゼクティブ・スクエア 4275（電話 1-858-373-1500）です。

## 注意事項

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221 及び MN-029 の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、または MN-029 を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイムリーな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した 2019 年 12 月期の Form10K 及びその後の 10Q、8K など届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。